

## ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡と ユークリッドが見つめる深宇宙

### 1. ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡がとらえた最遠の銀河

宇宙の黎明期を見つめるジェームズウェッブ宇宙望遠鏡が、赤方偏移 $z=14.32$ 、ビッグバンから2億9000万年！という超深部宇宙の銀河を見つけました。今までで最遠の銀河です。まだ分光観測による確認はされていませんが、もし本当に生まれたての銀河だったら、銀河の生い立ちに迫る大発見です！



図1. JWST超深部系外銀河探査で見つかった最遠銀河JADES-GS-z14-0  
©NASA, ESA, CSA, STScI, et al.

★原典：<https://blogs.nasa.gov/webb/2024/05/30/nasas-james-webb-space-telescope-finds-most-distant-known-galaxy/>

## 2. 市民天文学“銀河を分類しよう！”参加者募集中

宇宙の三次元マップを作るべく観測を頑張っている宇宙望遠鏡ユークリッド（月刊うちゅう2023年10月号）。

銀河がいつ、どのように形態を変えてきたかを知るのも重要な観測目標ですが、そのためには、その銀河がどんな形態なのかを、まず分類する必要があります。

最初の観測データでさえ何万個もある未分類銀河を仕分けて“銀河の形態図鑑”を作るにはAIが威力を発揮します。ただしAIの精度を上げるには、人間が教師データを与えなければいけません。

現在、世界中で40万人を超えるボランティアの方が参加していますが、今後も増え続けるデータに対処するため、増員が求められています。

まだ、誰も見たことのない銀河の、最初の目撃者になれるかもしれません。

あなたも銀河分類プロジェクトに参加しませんか？



図2. “銀河形態図鑑”の一例 ©ESA/Euclid/Euclid Consortium/NASA

★原典：[https://www.esa.int/Science\\_Exploration/Space\\_Science/Euclid/Euclid\\_Galaxy\\_Zoo\\_help\\_us\\_classify\\_the\\_shapes\\_of\\_galaxies](https://www.esa.int/Science_Exploration/Space_Science/Euclid/Euclid_Galaxy_Zoo_help_us_classify_the_shapes_of_galaxies)

石坂 千春(科学館学芸員)